

# 令和4年度 ふるさと・きずな維持・ 再生支援事業 事前説明

---

令和4年3月24日

福島県企画調整部文化スポーツ局文化振興課 副主査 嶋田

# 次第（本日の説明会について）

---

- 1 ふるさと・きずな維持・再生支援事業の主旨について
- 2 事業提案書の記載上の注意点
- 3 その他（スケジュール等）

※対象団体の範囲や会計上の規則等は募集要項を参照

！本動画の再配布、無断転載等は固く禁じます。

# 注意点

---

事業の採択は専門家から構成される運営委員会が行う

※県は事務局として書類不備等の確認を行う

事前説明会はあくまで事業主旨に沿った事業提案を促すためのもの

＝「今回の説明内容に従って事業提案書を作成すれば、必ず採択される」

ではないことに注意！（事業採択は運営委員会が決定）

# 1 ふるさと・きずな維持・ 再生支援事業の主旨に ついて

---

# 前提

---

東日本大震災からの福島県の復興に資する事業

復興との関連性が明確でない事業は採択されません

福島県民向けの事業＝復興 ではない

震災により発生した課題を解決するための事業であること

# 1ふるさと・きずな維持・再生支援事業 の主旨について

## 不適切な例(全ての事業累計に共通)

・復興との関連性が分からないもの

・復興に関する取組が副次的な要素になっているもの

SDGsに関する  
セミナーをやりたい！



メインのイベントは全く  
別のものだけど、  
復興に関するチラシを  
配っておけばOKでしょ



# 1 ふるさと・きずな維持・再生支援事業の主旨について

---

対象となる事業（募集要項より抜粋）

- ア **県内外における**東日本大震災による原子力災害に係る本県の**風評払拭対策活動**
- イ **県内における**震災を契機とした本県の**復興支援活動**（地域振興策や将来の災害への備えに係る取組は除く）
- ウ 県内外における**本県の復興・被災者支援を行うNPO等**の取組をサポートする  
**中間支援活動**

# 1 ふるさと・きずな維持・再生支援事業の主旨について

---

ア **県内外における**東日本大震災による原子力災害に係る本県の**風評払拭対策活動**

(例)

- ・ 風評払拭を目的とした、県外でのイベント等の開催
- ・ 県産農林水産物等に対する理解促進のための、冊子やSNSによる情報発信や、当県の生産者と県外の消費者等との定期的な交流活動
- ・ 風評・風化対策としての、証言記録誌の作成・配布や語り部の活動



# 1ふるさと・きずな維持・再生支援事業 の主旨について

---

## 不適切な例

・ターゲット設定が曖昧で風評・風化対策問題との関連性が分からないもの



〇〇県の人と  
交流するイベントを  
行います！



福島県出身の有名人を  
PRする事業を行います！



# 1 ふるさと・きずな維持・再生支援事業の主旨について

---

イ **県内における**震災を契機とした本県の**復興支援活動**（地域振興策や将来の災害への備えに係る取組は除く）

（例）

- ・ 避難地域や津波被災地域における、賑わい創出やコミュニティ形成のためのイベント等の開催
- ・ 復興まちづくりに向けた、地域内の事業者の現状や課題、今後の方向性等をまとめたデータベースの作成・公開
- ・ 国内外からの来県者に対し、これまでの支援に対する感謝を伝え当県との絆を深めるための情報発信や環境整備、おもてなしの強化

# 1 ふるさと・きずな維持・再生支援事業の主旨について

## 不適切な例

・単なる地域振興となっているもの



〇〇町のお祭りを  
やりたい！



・1回限りのイベントなど、継続性が見られないもの



東京でやってる  
音楽フェスを誘致します！  
今年度限りの開催です！



# 1 ふるさと・きずな維持・再生支援事業の主旨について

---

## 注意点

**県内**における震災を契機とした本県の復興支援活動

**県外**避難者の支援に関する事業は県避難者支援課が実施する

「**福島県県外避難者帰還・生活再建支援補助金**」が該当

県内避難者支援を中心とした事業については、避難者支援課の「**県内避難者・帰還者心の復興事業補助金**」が適切なケースも

# 1 ふるさと・きずな維持・再生支援事業の主旨について

---

ウ 県内外における**本県の復興・被災者支援を行う**NPO等の取組をサポートする

## 中間支援活動

(例)

- ・ 復興支援等に取り組む県内NPO等の自立化・自走化を支援するための、助言・指導の実施や研修会の開催
- ・ 復興支援等に取り組む県内NPO等の資金調達や民間企業等との協働を支援するための、客観的な評価ツールの開発・普及

# 1 ふるさと・きずな維持・再生支援事業の主旨について

## 不適切な例

- ・一般的な中間支援を行う事業

〇〇町のNPOの  
活動全般に関する  
中間支援をしたい!



**本県の復興・被災者支援を行うNPO等**への支援であることが必要

# 1 ふるさと・きずな維持・再生支援事業の主旨について

---

## まとめ

事業提案は

**東日本大震災によって発生した課題の解決に  
資する内容であること**

いかに取組が素晴らしくても、事業主旨と異なる事業提案が採択される可能性は低いです。



## 2 事業提案書の 記載上の注意点

---



## 2 事業提案書の記載上の注意点

---

- ア 事業の必要性や効果について
- イ 予算について
- ウ コロナ禍における事業構築について
- エ 継続団体(昨年度採択された団体)における注意点

## 2 事業提案書の記載上の注意点

---

### ア 事業の必要性や効果について

事業主旨に沿った内容であることは前提として...

事業の**必要性**や**効果**が伝わりやすい内容になっているか



## 2 事業提案書の記載上の注意点

---

### 必要性

- ・被災地の復興や原子力災害に係る風評払拭対策、復興支援活動等を行うNPOにとって必要性、重要性が高い取組か。
- ・被災地やNPO等のニーズを把握した取組か。

## 2 事業提案書の記載上の注意点

### 不適切な例

~~「震災でこのような課題がある」~~

← この部分の記載が根拠不足



「このような事業をしたい！」

← やりたいことだけを具体的に書く



自分達はこういう団体で、  
こういう事業がしくて、  
こういう実績があって…

で、いったい  
なんの復興課題に  
効果があるのかな？



## 2 事業提案書の記載上の注意点

---

### 事業内容・効果

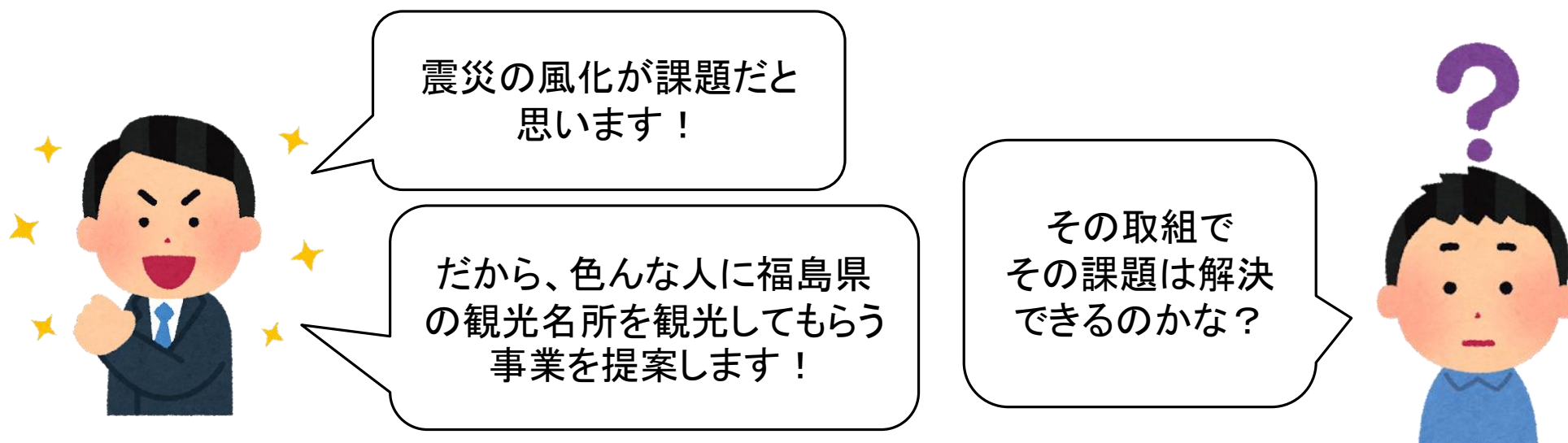
事業の内容は、事業目的を達成するにあたり、効果的な内容か。

## 2 事業提案書の記載上の注意点

### 不適切な例

「震災でこのような課題があるので」 ⇒ 「**このような事業をしたい**」

↑ 上記の因果関係が根拠不足、不明確、効果が低い



## 2 事業提案書の記載上の注意点

---

**課題設定は適切か？**

(本当にそれは復興課題か？存在する課題か？)

**設定した課題に対し、解決方法は適切か？**

(課題に対応したものになっているか、より良い方法はないか)

この2点を要確認

## 2 事業提案書の記載上の注意点

---

・課題は必ずしも全ての人に共有されているわけではない(復興課題の複雑化)

→事業提案書内で丁寧に説明する

・必要性の根拠(客観性)を強める

→行政や公的機関と連携しているのであれば記載する

〇〇町の課題はこうだけど、  
町外の人にも伝わるように  
背景をしっかり書こう

ニーズの把握について、  
役場の〇〇課と  
連携していることを書こう





## 2 事業提案書の記載上の注意点

---

### イ 予算について

予算は事業のもうひとつの骨格

⇒適正な予算編成で事業提案書の信頼性が増す！

# 2 事業提案書の記載上の注意点

---

## イ 予算について

### ★主なポイント★

基本的なルールを守っているか(人件費は総事業費の1/2以下等)

委託料が高いなど、外部への丸投げはしていないか

事業に対して事業予算は過大ではないか

一部の経費への偏り(広告費が多すぎる等)はないか、ある場合はその偏りに妥当性はあるか

不透明な支出はないか



## 2 事業提案書の記載上の注意点

---

### イ 予算について

住民の方に説明できる、効率的で透明性のある  
内容となっているか？

⇒補助金の原資は税金であることを念頭に置く

## 2 事業提案書の記載上の注意点

---

### ウ コロナ禍における事業構築について

事業構築は新型コロナウイルス感染拡大の影響による「新しい生活様式」を踏まえる

新型コロナウイルスの感染状況が変動しても、事業の主たる部分の変更を行わずに実施できるように事業構築を行う

例) 代替手段を設定する

ワークショップを実施⇒オンラインでもできるよう準備する



## 2 事業提案書に関する注意点

---

### エ 継続団体(昨年度採択された団体)における注意点

募集要項(抜粋)

「⑧ (前年度、本事業に採択された団体のみ)前年度に採択された取組については、原則として、**前年度の取組から発展したもの**等であること。」

**→昨年と全く同じ事業は×**

前年度の取組の結果や課題を活かし、内容を改善することが必要です。



最後に...

提出する前にもう一度  
見直しを！

---

誤字・脱字、基本的なルールの読み落としは事業提案の信頼性を  
損ねます

### 3 その他(スケジュール等)

---

募集期間 令和4年3月22日～令和4年4月11日

審査 4～5月中

内示 5月中

採択及び事業開始 令和4年6月1日(予定)

# おわりに

---

質問等は下記の連絡先をお願いします。

**福島県企画調整部文化スポーツ局文化振興課**

〒960-8670 福島市杉妻町2-16

電話 024-521-7179

FAX 024-521-5677

E-mail [bunka@pref.fukushima.lg.jp](mailto:bunka@pref.fukushima.lg.jp)

ホームページ

[福島県 文化振興課](#)

[検索](#)